

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」（平成26年度採択課題）

中間評価結果（ソフト分野）

番号	研究名	研究代表者	評価
26-2	首都圏3環状道路の効率的な運用に関する研究開発	東京大学 教授 大口 敬	A
<p><研究の概要></p> <p>首都圏3環状道路の整備に伴う高速道路利用経路特性、一般道路を含む首都圏道路ネットワークへの影響、施設立地と土地利用への影響等を分析・モデル化し、とくに高速道路網の円滑性を確保するため、交通状態をリアルタイムにモニタリングして首都圏道路ネットワークを効率的に運用する方策を提案する。</p> <p><中間評価結果></p> <p>着実に成果をあげており、研究の進捗状況・成果の見通しともに順調であることから、各種の政策提案を期待し、現行のとおり推進することが妥当と評価する。なお、最終年度では、効率的運用策の評価指標の明確化と評価施策について改めてよく検討いただきたい。</p> <p><参考意見></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 効率的運用のための政策変数が、現象記述モデル（例えば、経路選択、立地選択モデル）にどのように反映されているかを明確にした上で、モデル分析や政策評価を行っていただきたい。 2. 研究メンバーも充実しており、さらなる研究の進展とともに、学術的成果にも期待したい。 3. 物流施設の識別に当たり、OD特性および大型車集中・発生特性などの活用について検討いただきたい。 4. これまでの研究成果および今後の成果について、対外的にどのように情報発信し、有効活用すべきなのか検討いただきたい。 			

※本中間評価は、新道路技術会議の各委員が評価を行い、第28回新道路技術会議において審議したものである。